

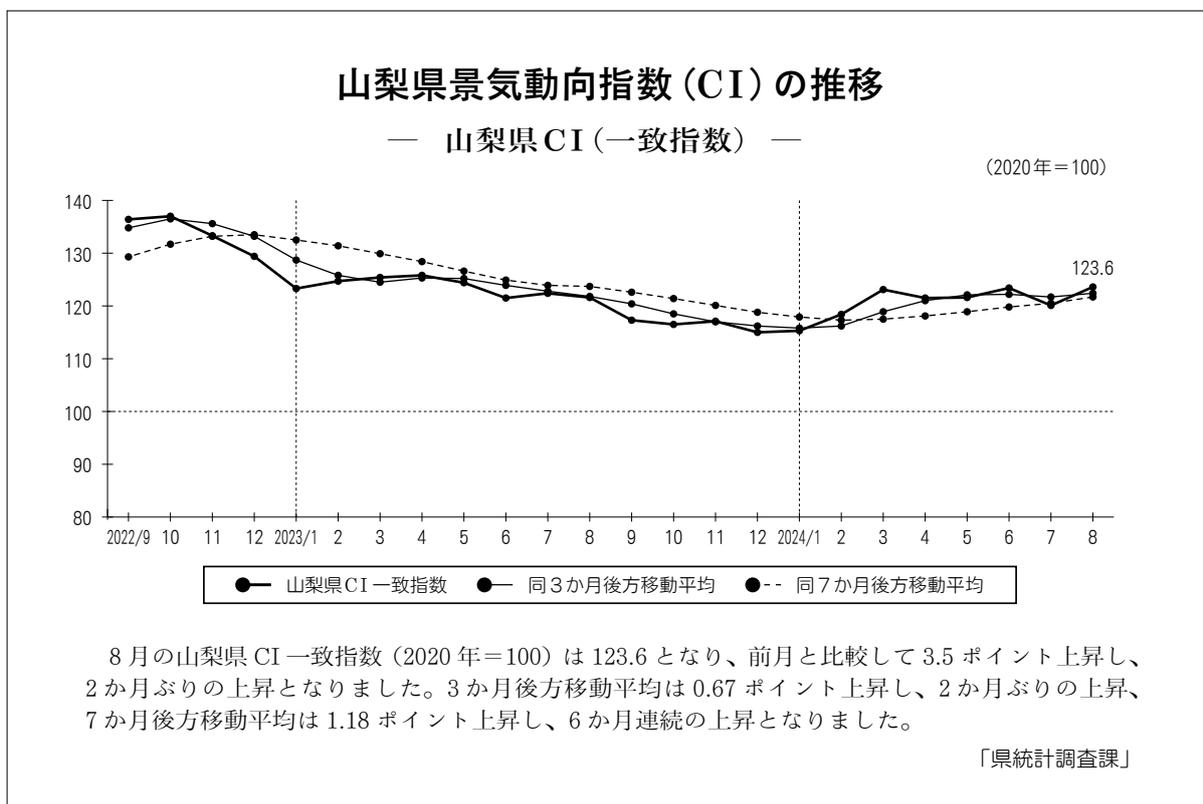
2024. **11**
No. **562**

調査月報

県内経済の動向	1
県内主要業界の動向	4
県内経済トピックス	10
主要経済指標	11
駐在員レポート	15

県内経済の動向

グラフでみる県内景気



概況

最近の県内景気 (9月～10月) は、基調としては緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きがみられる。需要面においては、設備投資で一部に持ち直しの動きがみられる一方、個人消費は力強さを欠いている。生産面においては、機械工業が横ばい圏で推移している。

需要：個人消費は、残暑が続き、季節商材の出足が鈍いほか、節約志向が強まっており、全体としては力強さを欠いている。設備投資は、一部に持ち直しの動きがみられる。

生産：機械工業は、半導体製造装置に持ち直しの動きがみられる一方、産業用ロボットや電子部品の一部に弱い動きが窺われ、全体としては横ばい圏で推移している。地場産業関連は、一部に堅調な動きもみられるが、国内需要の縮小や原材料価格の上昇などにより、全体としては厳しい局面が続いている。

消費動向

9月～10月の商況をみると、残暑が続き、季節商材の出足が鈍いほか、節約志向が強まっており、全体としては力強さを欠く。

9月の乗用車販売は、前年同月比3.4%増（普通車3.0%増、小型車4.2%増）と、2か月連続の前年比増加。

9月の県内観光は、全体を通し好天に恵まれ、各地の入込みは前年をやや上回る。

建設動向

住宅建設：新設住宅着工戸数（9月）は、前年同月比64.4%増と2か月ぶりの増加。利用関係別でみると、持家（前年同月比52.2%増）が4か月ぶりの増加、貸家（同190.7%増）が2か月ぶりの増加、分譲住宅（同43.8%減）が2か月ぶりの減少。

公共工事：公共工事保証請負額（9月：東日本建設業保証㈱）は158億89百万円で、前年同月比24.3%の減少。発注者別にみると、国が前年同月比120.4%増加、県が同26.8%減少、市町村が同15.2%減少。

雇用情勢

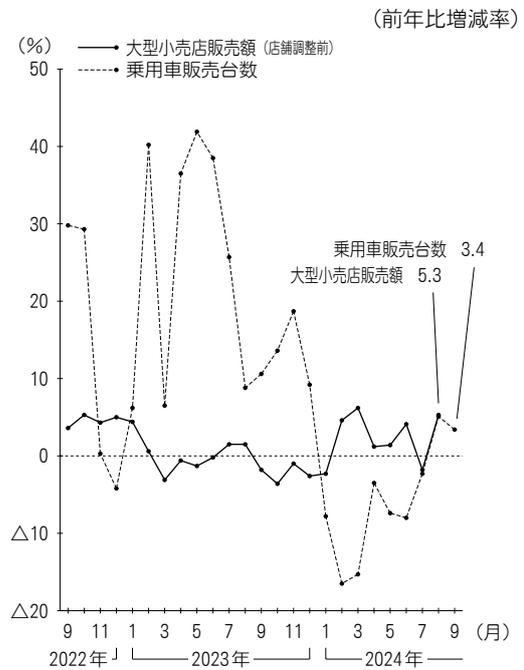
9月の有効求人倍率は1.25倍で、前月と比べて0.03ポイント低下。

新規求人数は、前年同月比7.1%減と2か月連続の減少。産業別では、建設業、情報通信業、生活関連サービス業・娯楽業等は増加、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業等は減少。

企業倒産

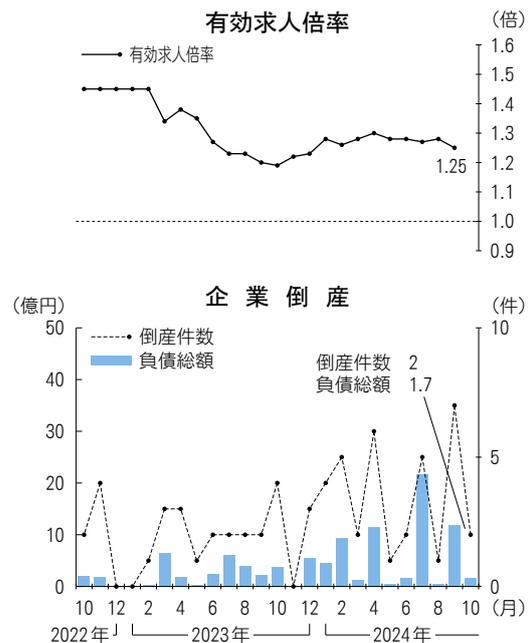
10月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は2件、負債総額は1億66百万円（東京商工リサーチ調べ）。前月と比べて件数は5件減少、負債総額も10億24百万円減少。

大型小売店販売額・乗用車販売台数推移



「経済産業省・山梨県自動車販売店協会」

雇用情勢・企業倒産の推移



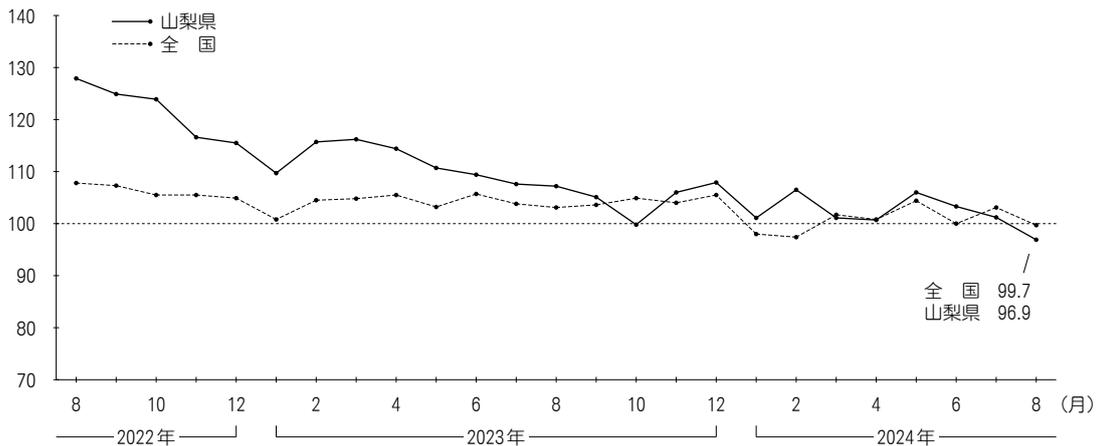
「山梨労働局職業安定部・東京商工リサーチ甲府支店」

生産・出荷動向

- 食品**：ミネラルウォーターは、好調な出荷が続く。冷菓類は、年間を通じて安定した需要があり、出荷が堅調に推移。ワインは、持ち直しの動きに一服感。海外向けの一部で堅調な動きがみられる一方、国内向けにやや弱さ。
- ニット**：受注面をみると、やや弱含みで推移。秋物への切り替えの遅れから、店頭販売が低水準で推移したことを背景に、当地メーカーへの追加受注は例年を下回る。生産面をみると、例年と比べ、稼働率が若干低い状況。
- 織物**：紳士服裏地は、受注・生産が横ばい圏で推移。ネクタイ地は、受注・生産の持ち直しの動きが鈍化。羽毛布団は、ふるさと納税の利用者が増加するなか、返礼品向けに底堅さがみられるが、全体では受注・生産がやや軟調に推移。
- 宝飾**：受注・生産は、持ち直しのペースが鈍化。年末商戦を控えて国内向けに動きがある一方、中国経済の減速を背景に海外向けが弱い。素材面をみると、ダイヤモンド市場が供給過剰に陥っており、天然ダイヤモンドの価格が低下。
- 電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス**：コンピュータ数値制御装置の受注・生産は堅調。水晶振動子は、主力のスマートフォン向けの受注・生産が上向き。電源装置は、半導体製造装置向けが低調で、医療機器向けも弱い動きがみられるなど、受注・生産が総じて弱含み。
- 生産用機械**：産業用ロボットは、受注・生産が低調に推移。半導体製造装置の受注・生産は、改善ペースは緩やかながらも、持ち直しの動きに広がり。工作機械及び関連部品は、アジア向けに底堅さが窺われるが、全体としては受注・生産が弱い動き。
- 輸送機械**：自動車部品の受注・生産は、全体としては横ばい圏で推移しているが、納入先や取扱車種などによってばらつき。EV向けがやや軟調な推移となっている一方、ハイブリッド車向けは総じて堅調に推移。
- 汎用・業務用機械**：カメラ部品は、受注・生産が堅調に推移。海外向け一眼レフカメラ用部品が伸長。医療機器は、納入先や取扱製品などによるばらつきがみられるものの、全体としては受注・生産が安定的に推移。

山梨県鉱工業生産指数推移

(2020年 = 100、季節調整済)

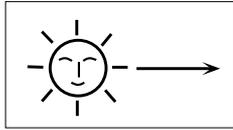


「経済産業省・県統計調査課」

- 8月の鉱工業生産指数は96.9で前月比4.2%の低下。
- 前年比(原数値)では10.7%の低下となり、22か月連続の低下。
- 業種別にみると、プラスチック製品工業、生産用機械工業、輸送機械工業の3業種が上昇、電気機械工業、情報通信機械工業、繊維工業等の12業種が低下。

県内主要業界の動向

食品



冷菓類は出荷が堅調に推移

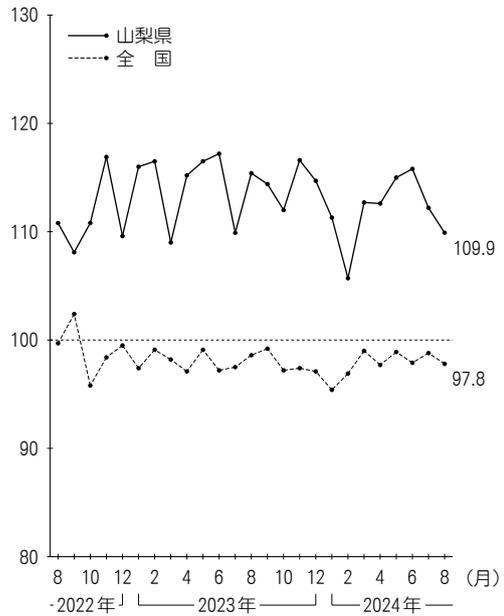
ミネラルウォーターは、好調な出荷が続いている。生活スタイルの変化や健康志向の高まりなどから、家庭内での消費が拡大していることが背景にある。なお、家庭内外を問わず、アルコールの割材として炭酸水の需要も堅調に推移しており、当地の生産は高稼働を維持している。

冷菓類は、温暖化の影響等に伴い、年間を通じて安定した需要があり、出荷が堅調に推移している。

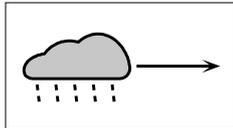
ワインは、持ち直しの動きに一服感が窺われる。海外向けの一部で堅調な動きがみられる一方、国内向けは、製品価格の上昇やアルコール離れ拡大の影響で、やや弱さがみられる。

食料品工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



ニット



受注はやや弱含みで推移

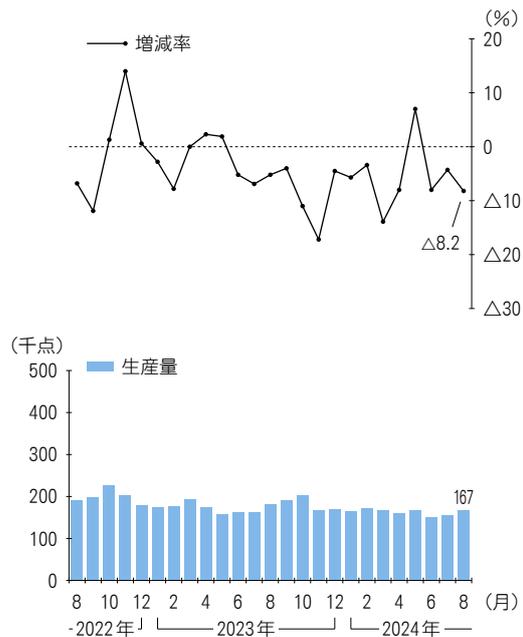
秋冬物の追加受注および生産がピークであり、出荷が本格化している。

受注面をみると、やや弱含みで推移している。残暑が厳しい日が続き、秋物への切り替えの遅れから、百貨店や一般小売店などの店頭販売が低水準で推移したことを背景に、当地メーカーへの追加受注は例年を下回っている。なお、受注の傾向としては、素材や編み方、シルエットなどにこだわった、デザイン性の高い製品が増加している。

生産面をみると、秋冬物の取り扱いで繁忙期となっているものの、例年に比べると稼働率は若干低い状況となっている。

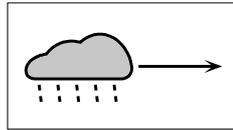
全国ニット製セーター・カーディガン・ベスト類生産推移

(前年比増減率)



「繊維統計月報」

■ 織物



羽毛布団の受注・生産はやや軟調

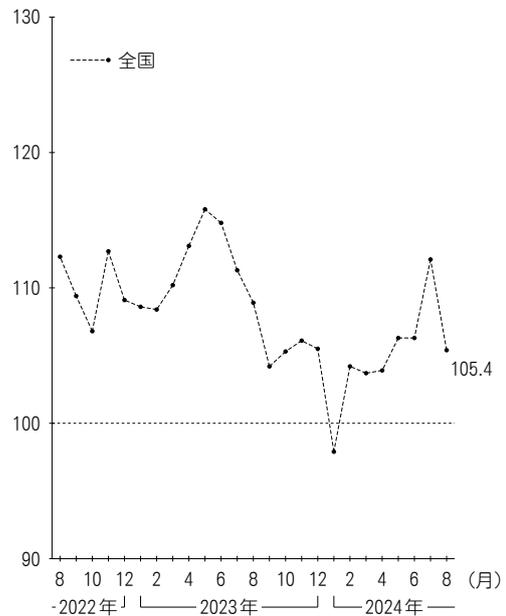
紳士服裏地は、受注・生産が横ばい圏で推移している。冠婚葬祭用の礼服向けやオーダースーツ向けに一定の需要がみられる一方、原糸の供給不安は依然として払拭されず、当地メーカーの受注増加を妨げる要因となっている。

ネクタイ地は、受注・生産の持ち直しの動きが鈍化している。カジュアル化の進展で受注環境が厳しいなか、高品質を前面に出した製品やデザイン性とオリジナリティが高い製品をアパレルに提案することで、受注を獲得する先も。

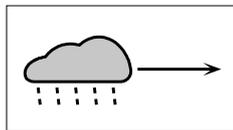
羽毛布団は、ふるさと納税の利用者が増加するなか、返礼品向けに底堅さがみられるが、全体では受注・生産がやや軟調に推移している。

織物工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



■ 宝飾



受注・生産の持ち直しのペースが鈍化

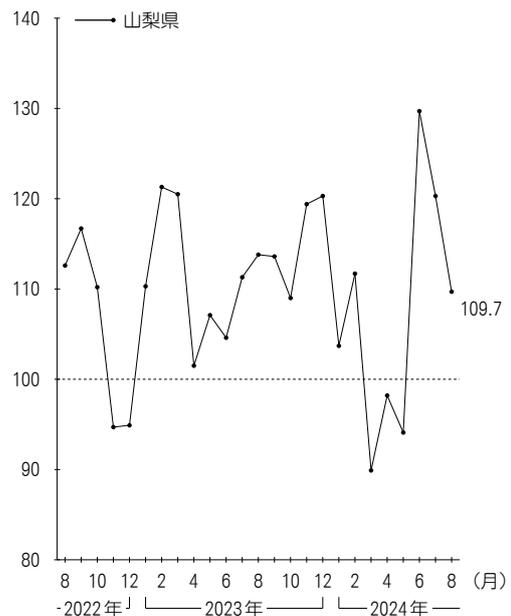
受注・生産は、持ち直しのペースが鈍化している。最需要期である年末商戦を控えて国内向けに動きがみられる一方、中国経済の減速を背景に中国国内で消費マインドが減退しており、海外向けには弱さが窺われる。

素材面をみると、ラボグロウンダイヤモンド（合成ダイヤモンド）の流通拡大に伴い、市場が供給過剰に陥っており、天然ダイヤモンドの価格が低下している。

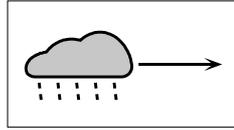
なお、10月23日～25日に横浜で秋の国際宝飾展が開催され、県内からも多くの事業者が出展した。来場者数は前年を下回ったものの、一部で活発な商談が行われた模様。

貴金属製品工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



**電気機械
情報通信機械
電子部品・デバイス**



電源装置の受注・生産は総じて弱含み

コンピュータ数値制御装置は、国内向け、海外向けともに受注・生産が堅調に推移している。

水晶振動子は、主力のスマートフォン向けの受注・生産が上向いているほか、車載向けも底堅く推移している。

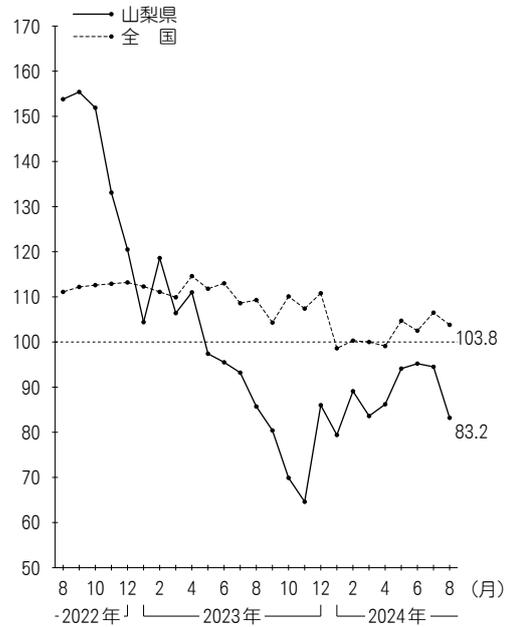
IC 部品は、車載向け、データセンター向けの受注・生産が堅調な一方、スマートフォン向け、基地局向けは弱含んでいる。

スイッチは、中国経済減速の影響で、受注・生産が低調に推移している。

電源装置は、半導体製造装置向けが低調なほか、医療機器向けにも弱い動きがみられるなど、受注・生産が総じて弱含んでいる。

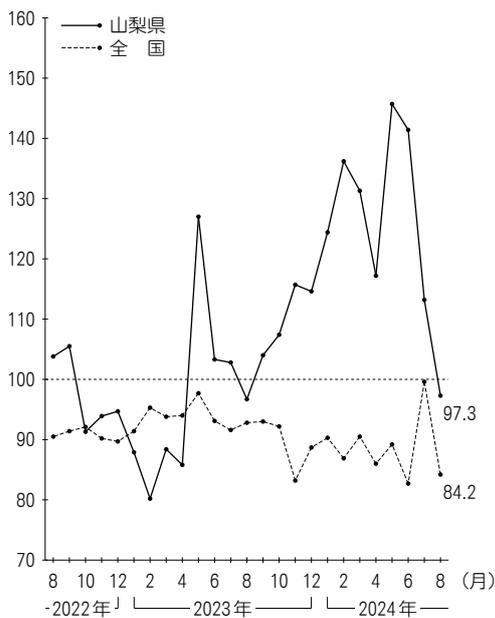
電気機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



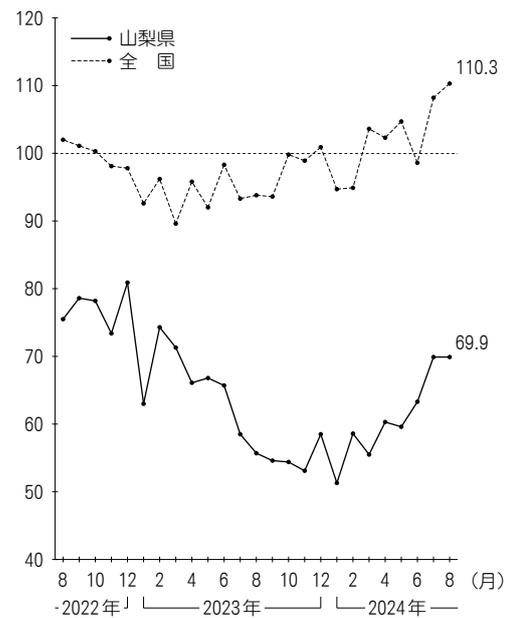
情報通信機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)

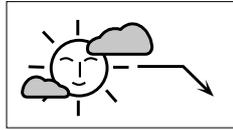


電子部品・デバイス工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



■ 生産用機械



産業用ロボットの受注・生産が低調

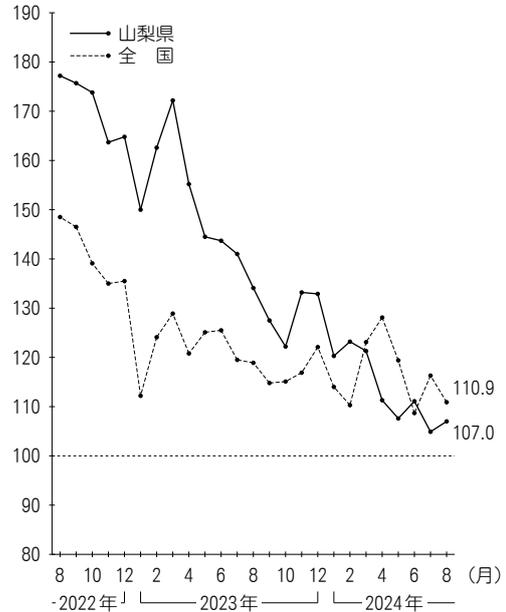
産業用ロボットは、受注・生産が低調に推移している。国内向けで一部に動きがみられるものの、欧米向け、中国向けなど海外向けの出荷が低水準となっている。先行きについて、年度末に向けて上向いていくものの、水準は低位にとどまるとの向きも。

半導体製造装置の受注・生産は、改善ペースは緩やかながらも、持ち直しの動きが広がりつつある。先行きについて、年明け以降の本格回復を期待する声が聞かれる。

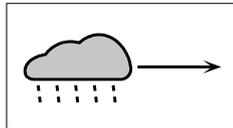
工作機械及び関連部品は、中国やインドなどアジア向けに底堅さが窺われるものの、全体としては受注・生産が弱い動きとなっている。

生産用機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



■ 輸送機械



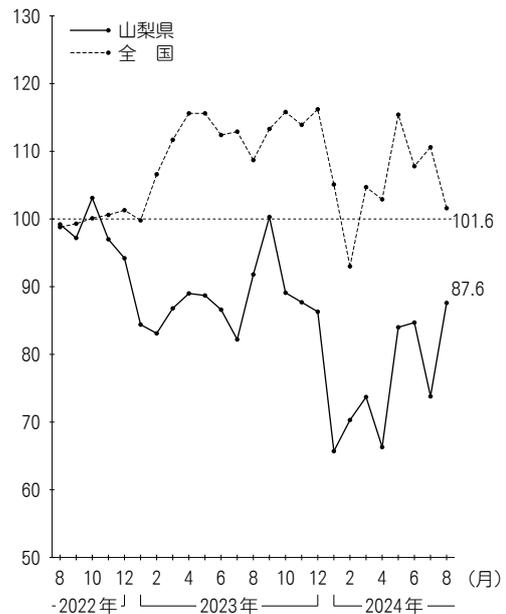
ハイブリッド車向けの受注・生産は堅調

8月の全国の四輪車生産台数は、前年同月比15.4%減と2か月ぶりに前年を下回り、車種別では、乗用車が15.3%減、トラックが15.2%減、バスが24.2%減となった。なお、二輪車生産台数は17.6%減となり、4か月連続で前年を下回った。

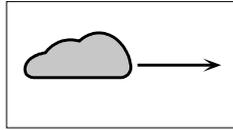
自動車部品の受注・生産は、全体としては横ばい圏で推移しているが、納入先や取扱車種などによってばらつきがみられる。品目別にみると、EV（電気自動車）向けは一服感が窺われ、やや軟調な推移となっている一方、ハイブリッド車向けは電装部品、エンジン関連部品などが総じて堅調に推移している。

輸送機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



汎用・業務用機械



医療機器の受注・生産は安定的に推移

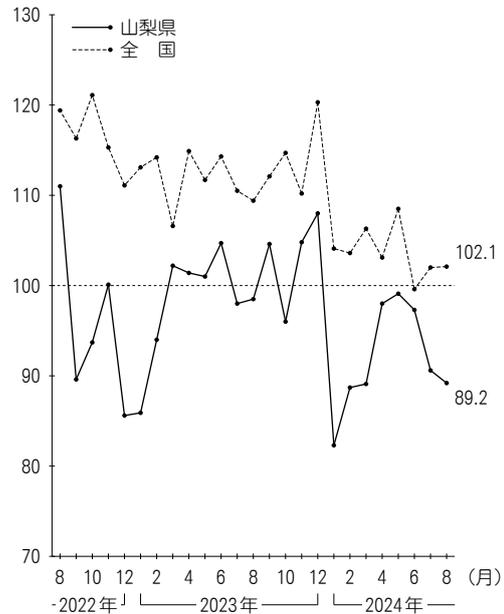
カメラ部品は、受注・生産が堅調に推移している。海外向け一眼レフカメラ用部品が伸長しているほか、ミラーレスカメラの交換レンズ部品も安定した需要を維持している。

医療機器は、納入先や取扱製品などによるばらつきがみられるものの、全体としては受注・生産が安定的に推移している。生産の国内回帰で受注が増加している先がみられるほか、新規製品の取り込みで、繁忙している先も一部にみられる。

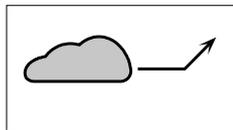
カード販売機や両替機などのサービス用機器関連は、新紙幣対応機種を受注・生産が好調を維持している。

汎用・業務用機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



建設



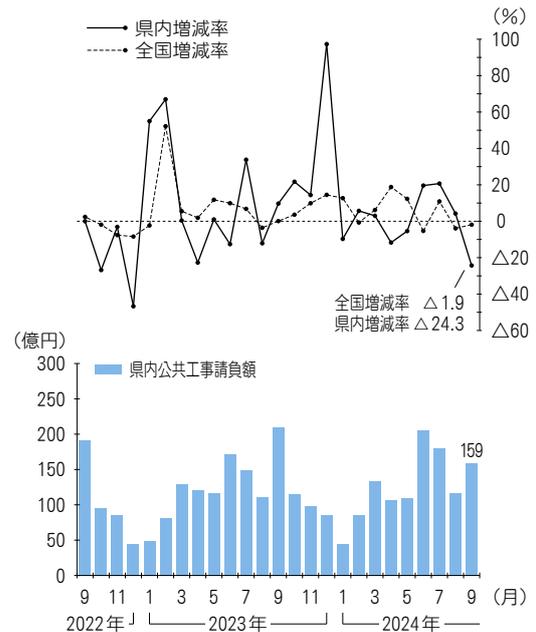
富士北麓地域では宿泊施設の新設が活発化

9月の公共工事保証請負額（東日本建設業保証㈱）は158億89百万円、前年同月比24.3%減と、4か月ぶりの減少。発注者別では、国（前年同月比120.4%増）が増加した一方、県（同26.8%減）、市町村（同15.2%減）は減少した。2024年度の累計（2024年4月～9月）は877億16百万円で、前年度を0.2%下回っている。

民間工事は、商業用店舗に動きがみられるほか、富士北麓地域を中心に宿泊施設の新設工事が活発化するなど、底堅く推移している。新規工事の引き合いも増加しているが、人手不足や工期中の資材価格上昇リスクが受注のボトルネックとなっているとの声が聞かれる。

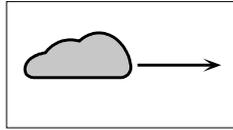
公共工事保証請負額推移

(前年比増減率)



「東日本建設業保証㈱」

■ 商業



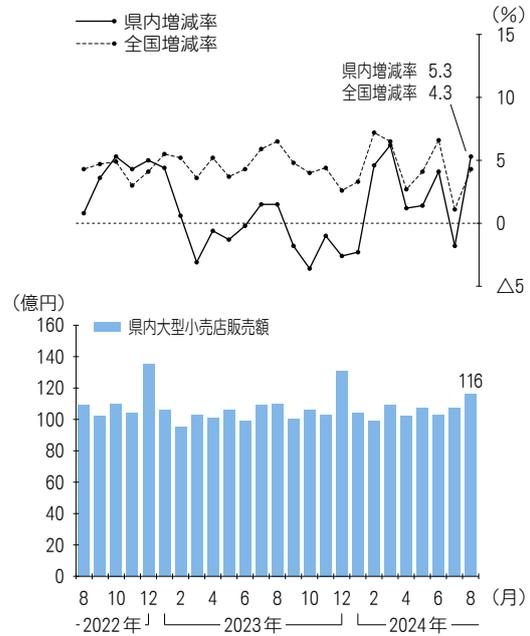
全体的に力強さを欠く

9月～10月の商況をみると、残暑が続き、季節商材の出足が鈍いほか、節約志向が強まっており、全体としては力強さを欠いている。

品目別にみると、衣料品は、例年より気温の高い日が続く、紳士、婦人ともに秋冬物が鈍い動き。食料品は、横ばい圏で推移。季節商材は、鍋物などの出足が低調。野菜類や米類は、価格の上昇により販売点数が減少。一方、惣菜が堅調なほか、米の代替品として麺類の需要が拡大。家電品は、パソコンが前年を上回る水準で推移しているものの、テレビは低調で、総体では前年並み。その他の品目では、化粧品が海外ブランドを中心に伸長。

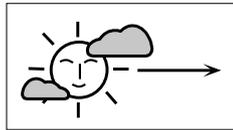
大型小売店販売額推移

(店舗調整前・前年比増減率)



「経済産業省」

■ 観光



好天に恵まれ、前年をやや上回る入込み

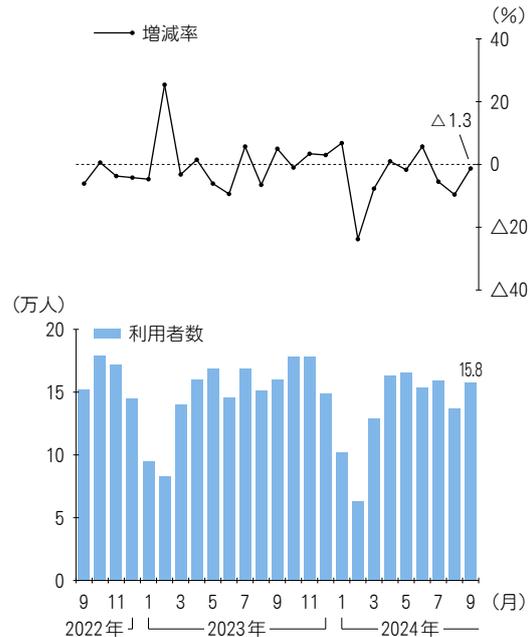
9月の県内観光は、全体を通し好天に恵まれ、各地の入込みは前年をやや上回った。

地域別にみると、湯村温泉は、2度の3連休を中心に個人客で賑わいがみられ、宿泊客数は前年超え。下部温泉は、団体客の動きが鈍く、平日の集客に苦戦するなか、入込みは前年をやや下回る水準で推移。石和温泉は、遠方からの団体客が増加。富士北麓は、外国人観光客を中心に宿泊客数が底堅く推移しているほか、学生サークルの活動も正常化し、グループ旅行や合宿が前年超え。

なお、各地の観光農園では、最盛期となったかどうか狩りを楽しむ家族客で賑わいがみられた。

県内ゴルフ場利用者数推移

(前年比増減率)



「県税務課」

県内経済トピックス

(10月を中心として)

■ 県内市町村の経常収支比率が悪化

山梨県は、9月30日、2023年度の市町村普通会計決算の概要を公表した。

これによると、県内27市町村の歳入総額は4,981億98百万円で、前年から77億43百万円の増加となり、歳出も4,696億5百万円と同82億91百万円の増加となった。

この結果、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は前年度より1.8ポイント上昇（悪化）の89.2%となり、県内市町村において財政の硬直化が進んでいる。

■ 上半期倒産、件数、金額ともに増加

東京商工リサーチ甲府支店は、9日、2024年度上半期（4月～9月）の倒産状況（負債額1千万円以上）を発表した。

これによると、倒産件数は22件、負債総額は47億5,000万円で、前年同期と比べて倒産件数は10件多く、負債総額も30億7,800万円増加した。産業別では製造業が7件と最も多く、以下、サービス業（5件）、建設業（4件）の順となった。また、原因別では販売不振が17件で最も多くなっている。

■ 山梨県の魅力度25位に低下

民間シンクタンクのブランド総合研究所は、13日、「地域ブランド調査2024」の結果を発表した。

これによると、都道府県別の魅力度ランキングにおいて、山梨県の魅力度は24.3点と前年の24.5点から低下し、順位も前年の21位から25位に低下した。

なお、ランキング上位をみると、1位は北海道（70.8点）で、以下、京都府（55.6点）、沖縄県（49.8点）と前年と同順位になった。

■ 山梨の家計、収入面で全国を下回る

山梨県は、15日、総務省が実施している家計調査を取りまとめ、県内の2人以上世帯における家計の収入、支出の動向や、貯蓄、負債の概要などをまとめた山梨県版家計調査を公表した。

これによると、2023年の勤労者世帯の月収は493,801円で全国平均608,182円を114,381円下回り、支出は297,715円で全国平均293,997円を3,718円上回っている。なお、貯蓄額は1,344万円（全国平均1,904万円）、負債額は551万円（同655万円）となっている。

■ 県職員給与3年連続で引き上げを勧告

山梨県人事委員会は、16日、2024年度の給与勧告を実施した。

勧告は、民間給与の実態を調査し、官民格差の是正を図るために実施される。今年度は民間給与水準の上昇を反映し、職員の平均年間給与を20万円（3.2%）引き上げる内容となっており、増額は3年連続となる。内訳では、期末・勤勉手当（ボーナス）を0.1か月分引き上げ4.6か月分とするほか、給料月額についても増額を求めている。

■ 2023年の観光消費額、前年比3.5%増加

山梨県は、31日、山梨県観光入込客統計調査の結果を公表した。

これによると、2023年に山梨県を訪れた観光入込客数（実人数）は2,575万4千人で、前年より6.0%の減少となった。なお、1人当たりの平均訪問地点数が0.3地点増加したことから、延べ人数は前年と比べ増加している。

一方、1人当たりの平均観光消費額は12,328円と前年より10.1%増加し、県全体の観光消費額も3,175億円と3.5%の増加となった。

山梨県の主要経済指標①

摘要	県人口 (注1)		県税収入済額 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数 (甲府市)	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	運行指数	指数	前年比
	人	%	億円	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100			2020年=100	%
2021年	805,338	△ 0.6	976	5.8	115.5	15.5	114.9	14.9	104.0	9.8	130.6	119.4	114.8	99.3	△ 0.7
2022年	801,620	△ 0.5	1,016	4.1	122.2	5.8	122.0	6.2	141.9	36.4	128.7	129.4	134.3	101.6	2.3
2023年	795,544	△ 0.8	1,007	△ 0.9	109.2	△ 10.6	107.6	△ 11.8	174.4	22.9	133.7	115.0	141.9	105.0	3.4
2023.9	795,834	△ 0.8	52	0.5	105.1	△ 16.8	101.9	△ 20.8	164.7	25.9	135.7	117.3	133.9	105.9	3.2
10	795,544	△ 0.8	57	△ 13.7	99.8	△ 18.7	97.0	△ 20.2	172.3	28.2	127.0	116.5	138.0	106.7	3.3
11	795,284	△ 0.8	68	4.9	106.0	△ 10.3	104.1	△ 11.0	172.0	21.0	133.4	117.1	142.0	106.5	2.8
12	794,745	△ 0.8	133	△ 0.7	107.9	△ 7.7	106.6	△ 5.6	177.8	22.9	133.7	115.0	141.9	106.3	2.6
2024.1	794,204	△ 0.8	81	9.8	101.1	△ 6.7	101.8	△ 2.9	162.8	7.7	133.0	115.3	139.5	106.3	2.3
2	793,146	△ 0.8	40	2.5	106.5	△ 6.8	105.1	△ 5.9	163.9	2.9	130.4	118.4	142.0	106.5	3.0
3	792,492	△ 0.7	59	8.1	101.1	△ 15.1	106.5	△ 15.1	150.5	△ 2.0	137.7	123.1	143.4	106.5	2.6
4	790,368	△ 0.7	65	13.9	100.7	△ 10.6	101.7	△ 8.9	136.1	△ 7.8	144.4	121.5	153.0	107.1	2.6
5	791,481	△ 0.7	112	19.8	106.0	△ 3.4	106.1	△ 3.8	116.2	△ 24.4	156.0	121.6	150.2	107.2	2.5
6	791,233	△ 0.7	187	△ 2.1	103.3	△ 8.0	102.7	△ 7.0	115.0	△ 26.4	151.3	123.4	135.2	107.9	3.0
7	790,941	△ 0.7	91	6.1	101.2	△ 3.6	97.7	△ 4.5	114.1	△ 24.6	152.2	120.1	137.6	108.0	2.7
8	790,808	△ 0.7	48	△ 24.5	96.9	△ 10.7	99.9	△ 3.4	112.0	△ 33.0	152.7	123.6	140.5	108.3	2.9
9	790,489	△ 0.7	63	20.6											
出所	県統計調査課		県税務課		県統計調査課				県統計調査課			県統計調査課			

全国の主要経済指標①

摘要	人口 (注1)		租税収入 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	運行指数	指数	前年比
	千人	%	億円	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100			2020年=100	%
2021年	125,502	△ 0.2	670,379	10.2	105.4	5.4	104.4	4.4	98.5	6.4	116.0	111.8	99.8	99.8	△ 0.2
2022年	124,947	△ 0.4	711,374	6.1	105.3	△ 0.1	103.9	△ 0.5	101.2	2.7	109.3	113.5	103.6	102.3	2.5
2023年	124,352	△ 0.5	720,761	1.3	104.1	△ 1.1	103.4	△ 0.5	101.0	△ 0.2	110.2	115.8	106.9	105.6	3.2
2023.9	124,348	△ 0.5	37,760	△ 1.6	103.6	△ 4.4	103.4	△ 2.3	103.6	0.2	109.8	115.5	106.0	106.2	3.0
10	124,352	△ 0.5	46,789	2.7	104.9	1.1	103.8	1.1	104.2	1.0	109.1	115.6	106.4	107.1	3.3
11	124,342	△ 0.5	93,967	△ 6.0	104.0	△ 1.4	102.6	△ 1.4	104.2	1.0	109.0	114.8	106.4	106.9	2.8
12	124,299	△ 0.5	40,486	△ 1.6	105.5	△ 1.0	104.9	0.4	102.9	△ 0.2	110.2	115.8	106.9	106.8	2.6
2024.1	124,143	△ 0.5	67,461	4.7	98.0	△ 1.5	96.6	△ 1.7	101.0	△ 1.8	109.7	113.0	105.1	106.9	2.2
2	124,105	△ 0.4	62,220	1.1	97.4	△ 3.9	95.9	△ 4.7	101.6	△ 1.7	111.8	112.4	106.4	106.9	2.8
3	124,003	△ 0.5	36,359	5.7	101.7	△ 6.2	100.4	△ 6.8	102.6	△ 1.0	111.8	114.4	106.1	107.2	2.7
4	124,002	△ 0.4	59,316	△ 2.9	100.8	△ 1.8	100.0	△ 1.4	102.4	△ 2.4	111.0	115.4	106.1	107.7	2.5
5	123,941	△ 0.4	136,343	27.1	104.4	1.1	103.9	1.3	103.3	△ 2.1	111.0	117.5	108.0	108.1	2.8
6	p123,890	△ 0.5	27,278	10.5	100.0	△ 7.9	99.0	△ 8.1	102.6	△ 2.7	109.1	114.1	107.0	108.2	2.8
7	p123,960	△ 0.4	43,190	△ 35.6	103.1	2.9	101.7	2.0	103.0	△ 2.5	109.3	117.2	107.5	108.6	2.8
8	p123,850	△ 0.5	58,136	25.8	99.7	△ 4.9	97.5	△ 6.5	102.2	△ 2.2	106.9	114.0	107.9	109.1	3.0
9	p123,780	△ 0.5			p101.1	△ 2.8	p99.7	△ 4.3	p102.3	△ 1.3				108.9	2.5
出所	総務省		財務省		経済産業省				内閣府			総務省			

(注1) 年数値は10月1日現在 (注2) 年数値は年度計 (注3) 年数値は年平均 (注4) 年数値は12月現在 (注5) pは速報値

山梨県の主要経済指標 ②

摘要	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合計		乗用車			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
年月	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	台	%	台	%	台	%
2021年	1,248	0.7	893	2.0	221	3.2	541	△ 6.5	324	3.2	20,081	1.9	16,605	△ 1.5	14,249	△ 4.5
2022年	1,277	2.3	936	4.8	225	1.9	581	7.6	329	1.6	17,688	△ 11.9	14,903	△ 10.2	14,364	0.8
2023年	1,269	△ 0.6	980	4.8	216	△ 4.0	612	5.3	328	△ 0.5	20,704	17.1	17,807	19.5	16,073	11.9
2023.9	100	△ 1.8	83	5.3	17	△ 4.9	52	8.8	25	0.5	1,815	9.6	1,562	10.6	1,485	7.1
10	106	△ 3.6	83	2.9	16	△ 7.4	52	7.1	27	△ 2.9	1,648	12.3	1,462	13.6	1,367	2.9
11	103	△ 1.0	80	2.2	17	△ 0.9	52	7.1	27	3.3	1,753	17.6	1,537	18.7	1,411	4.4
12	131	△ 2.6	85	0.6	23	△ 1.3	56	5.1	34	△ 1.5	1,641	16.7	1,339	9.2	1,238	6.4
2024.1	104	△ 2.3	77	0.8	20	△ 4.1	51	5.4	24	0.3	1,435	△ 7.6	1,260	△ 7.8	977	△ 28.2
2	99	4.6	74	5.5	17	4.1	51	10.6	23	4.1	1,540	△ 18.0	1,334	△ 16.5	993	△ 31.9
3	109	6.2	81	0.7	21	2.4	52	11.0	28	5.7	2,052	△ 17.9	1,827	△ 15.3	1,340	△ 26.0
4	102	1.2	81	1.6	16	△ 2.6	53	7.0	31	0.0	1,495	△ 6.5	1,342	△ 3.5	925	△ 28.8
5	107	1.4	84	1.3	15	△ 6.9	53	5.7	31	1.9	1,335	△ 8.7	1,176	△ 7.4	984	△ 15.5
6	103	4.1	82	2.5	17	9.9	54	6.7	27	4.6	1,524	△ 10.0	1,320	△ 8.0	1,197	△ 0.5
7	107	△ 1.8	90	0.1	22	2.4	57	5.3	29	0.6	1,731	△ 3.1	1,504	△ 2.3	1,319	18.3
8	116	5.3	92	1.9	20	16.6	59	10.7	30	11.6	1,414	2.6	1,210	5.1	1,047	△ 9.7
9	p101	1.6	p84	0.4	p17	1.5	p53	2.2	p26	4.4	1,842	1.5	1,615	3.4	1,438	△ 3.2
出所	経済産業省										山梨県自動車販売店協会				県軽自動車協会	

全国の主要経済指標 ②

摘要	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合計		乗用車			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千台	%	千台	%	千台	%
年月	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	千台	%	千台	%	千台	%
2021年	199,071	0.9	117,601	1.3	46,867	△ 2.3	73,066	0.3	33,905	△ 3.0	2,820	△ 2.8	2,394	△ 3.2	1,653	△ 3.8
2022年	206,603	3.8	121,996	3.8	46,844	0.0	77,087	5.5	33,420	△ 1.4	2,586	△ 8.3	2,218	△ 7.4	1,638	△ 0.9
2023年	216,074	4.6	127,321	4.4	46,284	△ 1.2	83,449	8.3	33,411	0.0	3,057	18.2	2,647	19.3	1,745	6.5
2023.9	17,085	4.5	10,617	4.0	3,764	△ 0.4	7,017	10.2	2,548	△ 0.8	274	12.4	238	12.4	165	7.9
10	17,999	3.6	10,815	2.2	3,397	△ 3.4	7,111	10.3	2,802	△ 1.5	245	14.8	214	15.3	155	4.7
11	18,363	4.2	10,334	0.1	3,708	3.3	6,940	8.9	2,756	3.1	258	14.9	224	16.4	156	0.3
12	22,846	2.5	11,475	4.2	4,682	△ 3.4	7,739	5.8	3,322	△ 2.2	234	11.0	200	11.0	131	△ 3.5
2024.1	18,264	3.3	10,086	1.6	3,941	△ 6.0	6,959	7.3	2,444	△ 1.0	218	△ 5.5	193	△ 4.6	118	△ 22.8
2	17,021	7.2	9,768	5.4	3,423	△ 1.4	6,815	11.4	2,278	1.3	228	△ 15.8	202	△ 14.4	118	△ 24.8
3	18,886	6.5	10,602	0.4	4,563	6.3	7,313	8.9	2,747	2.5	306	△ 19.8	268	△ 18.5	148	△ 23.6
4	17,612	2.7	10,423	0.3	3,540	3.5	7,150	6.1	3,022	0.9	209	△ 5.6	181	△ 6.0	103	△ 20.7
5	18,212	4.1	10,773	1.3	3,532	0.6	7,315	6.8	3,070	1.0	203	△ 2.4	176	△ 1.7	111	△ 7.7
6	18,675	6.6	10,670	1.6	4,037	10.3	7,493	7.5	2,888	4.6	243	△ 7.0	211	△ 6.9	132	△ 0.7
7	18,990	1.1	11,482	0.7	4,540	1.6	7,793	4.5	2,977	△ 1.5	265	3.9	229	3.7	142	12.9
8	18,664	4.3	11,466	0.7	3,891	3.6	7,833	7.4	2,984	7.9	210	△ 2.5	180	△ 1.6	120	△ 5.3
9	p17,425	1.8	p10,682	0.6	p3,771	0.2	p7,288	3.9	p2,606	2.3	276	0.7	240	1.1	164	△ 0.6
出所	経済産業省										日本自動車販売協会連合会				全国軽自動車協会連合会	

(注1) p は速報値

山梨県の主要経済指標 ③

摘要	家計(勤労者世帯)(注1)				現金給与総額 (規模30人以上)		所定外労働時間 (規模30人以上) (製造業)		推計常用労働者 (規模30人以上)		新規求職者数 (注2)		新規求人数 (注2)		求人倍率 (注2)		雇用保険 受給者実人員 (注2)	
	消費支出金額		同実質指数		金額	指数 前年比	時間	指数 前年比	人数	指数 前年比	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	人数	前年比
	金額	前年比	指数	前年比														
	年月	円	%	%	%	円	%	時間	%	人	%	人	%	人	%	倍	人	%
2021年	313,311	2.4	103.1	3.1	333,746	2.2	18.5	11.5	152,400	△2.5	35,022	△2.9	70,440	17.2	2.01	1.26	29,478	△20.1
2022年	322,243	2.9	103.6	0.5	341,276	2.0	19.3	4.8	154,771	1.4	34,876	△0.4	77,323	9.8	2.22	1.41	27,306	△7.4
2023年	341,150	5.9	106.1	2.4	344,836	1.1	16.3	△15.3	149,021	△3.7	34,359	△1.5	72,238	△6.6	2.10	1.26	30,977	13.4
2023.9	254,740	△4.2	78.6	△7.2	282,882	2.0	15.1	△25.2	146,763	△5.1	2,825	△1.1	5,758	△8.9	2.04	1.22	2,842	13.2
10	291,762	△1.6	89.3	△4.8	281,766	△1.8	15.6	△23.5	146,721	△5.0	2,930	3.6	5,730	△10.9	1.99	1.21	2,818	20.7
11	474,804	21.9	145.7	18.6	286,806	0.5	14.7	△26.1	148,786	△2.3	2,510	0.2	5,445	△0.6	2.12	1.22	2,678	16.7
12	505,089	23.4	155.2	20.2	631,281	△2.5	15.8	△10.7	148,777	△4.1	2,206	4.0	5,912	△12.9	2.02	1.22	2,527	14.5
2024.1	346,131	5.9	106.4	3.6	275,911	0.6	12.2	△22.9	149,543	△3.2	3,556	3.3	7,242	3.3	2.13	1.28	2,413	13.8
2	294,664	10.4	90.4	7.2	274,439	1.2	12.4	△27.4	155,537	0.8	2,974	△7.0	5,976	△5.8	2.07	1.26	2,293	8.7
3	313,536	△8.1	96.2	△10.5	292,656	1.6	13.9	△21.5	159,279	3.6	2,769	△15.9	6,125	△8.3	2.37	1.28	2,209	2.5
4	321,472	0.2	98.1	△2.4	281,679	△1.1	14.2	△22.4	161,413	4.2	3,557	△2.2	6,224	△2.9	2.29	1.30	2,159	△0.9
5	494,534	58.9	150.7	55.0	282,281	0.8	12.0	△24.1	159,539	4.7	2,885	△4.1	5,835	0.1	2.01	1.28	2,401	△1.2
6	275,844	△25.0	83.5	△27.1	434,383	△8.7	13.1	△15.4	158,775	2.1	2,341	△17.4	5,905	△5.7	2.30	1.28	2,384	△12.2
7	289,059	1.1	87.4	△1.6	434,203	5.6	13.2	△18.0	160,689	3.8	2,659	5.6	5,959	8.2	2.17	1.27	2,719	△5.4
8	301,197	△13.2	90.9	△15.6	286,801	0.1	p13.0	6.6	p158,314	2.2	2,269	△14.7	5,182	△8.3	2.29	1.28	2,667	△11.1
9											2,439	△11.5	5,716	△7.1	2.10	1.25	2,582	△9.1
出所	総務省				県統計調査課						山梨労働局							

全国の主要経済指標 ③

摘要	家計(勤労者世帯)				現金給与総額 (規模30人以上)		所定外労働時間 (規模30人以上) (製造業)		推計常用労働者 (規模30人以上)		新規求職者数 (注2)		新規求人数 (注2)		求人倍率 (注2)		完全失業者	
	消費支出金額		平均消費性向		金額	指数 前年比	時間	指数 前年比	人数	指数 前年比	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	失業者数	失業率
	金額	前年比 (実質)	平均消費性向	前年比														
	年月	円	%	%	ポイント	円	%	時間	%	千人	%	千人	%	千人	%	倍	万人	%
2021年	309,469	1.2	37.2	△1.5	368,493	0.9	15.3	14.2	29,547	△0.2	4,630	0.1	9,629	9.8	2.08	1.16	193	2.8
2022年	320,627	3.6	36.0	△1.2	379,732	3.0	16.0	4.6	29,317	△0.8	4,585	△1.0	10,528	9.3	2.30	1.31	179	2.6
2023年	318,755	△0.6	35.6	△0.4	386,982	1.9	15.2	△0.5	29,547	0.8	4,505	△1.7	10,275	△2.4	2.28	1.29	178	2.6
2023.9	311,728	△0.7	78.2	0.5	317,453	1.1	15.2	△5.6	29,609	0.8	358	△1.1	858	△3.4	2.25	1.29	182	2.6
10	330,590	0.6	71.3	1.3	319,761	2.2	15.7	△4.8	29,619	0.8	378	4.4	909	△1.8	2.25	1.29	175	2.5
11	301,718	△2.1	74.7	△0.8	330,677	0.7	15.9	△4.2	29,709	1.1	326	△1.5	824	△4.8	2.25	1.27	169	2.5
12	348,859	△1.4	38.4	1.2	712,710	1.5	15.5	△6.1	29,731	1.1	296	1.9	821	△3.3	2.25	1.27	156	2.4
2024.1	313,165	△5.4	76.7	△5.1	323,870	2.5	13.6	△6.2	29,643	1.1	408	0.7	911	△3.0	2.28	1.27	163	2.4
2	307,765	3.0	66.1	1.7	313,408	1.3	14.6	△6.4	30,724	4.9	392	△2.9	893	△3.6	2.26	1.26	177	2.6
3	353,810	4.1	84.3	0.8	339,957	1.3	14.9	△5.7	30,545	5.0	383	△8.9	831	△7.4	2.38	1.28	185	2.6
4	345,020	3.2	76.2	2.3	330,504	1.7	14.6	△5.8	31,043	5.0	519	3.6	822	△2.3	2.17	1.26	193	2.6
5	318,560	2.2	84.7	△5.5	334,010	2.1	13.6	△3.5	31,137	5.0	411	1.4	829	△0.6	2.16	1.24	193	2.6
6	300,228	0.6	36.9	△4.2	602,589	3.7	14.3	△4.0	31,177	5.1	337	△8.1	792	△9.4	2.26	1.23	181	2.5
7	312,568	2.0	55.0	△4.7	459,951	3.0	14.9	△23.2	31,199	5.1	358	4.7	843	1.2	2.22	1.24	188	2.7
8	318,764	2.3	66.1	△3.2	327,096	2.9	14.0	△1.4	31,136	5.1	317	△9.2	792	△6.5	2.32	1.23	175	2.5
9											349	△2.5	807	△5.9	2.22	1.24	173	2.4
出所	総務省				厚生労働省												総務省	

(注1) 調査世帯数などの影響から前年比が大きく変動する場合があります。(注2) 年数値は年度計または年度平均 (注3) pは速報値

山梨県の主要経済指標 ④

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定 (注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	戸	%	戸	%	戸	%	m ²	%	億円	%	件	%	百万円	%	億円	%	億円
2021年	4,513	10.0	2,997	9.8	960	17.8	428,888	86.6	1,445	4.0	19	△38.7	5,681	△17.1	51,037	3.2	19,992	△0.1
2022年	4,669	3.5	2,824	△5.8	1,241	29.3	289,533	△32.5	1,381	△4.4	24	26.3	5,452	△4.0	52,216	2.3	21,015	5.1
2023年	3,969	△15.0	2,448	△13.3	1,032	△16.8	275,999	△4.7	1,442	4.4	23	△4.2	3,279	△39.9	52,908	1.3	21,986	4.6
2023.9	236	△26.0	161	△36.6	43	79.2	50,156	167.2	210	9.7	2	△33.3	232	△77.7	53,110	2.6	22,003	5.4
10	274	△49.0	177	△36.6	65	△69.5	12,713	△51.3	115	21.7	4	100.0	380	90.0	52,591	1.7	21,861	5.1
11	454	3.2	188	△20.7	235	46.0	70,223	368.3	98	14.4	0	-	0	-	52,705	1.3	21,838	4.6
12	237	△32.5	166	△21.7	48	△55.6	18,936	△34.1	86	97.3	3	-	546	-	52,908	1.3	21,986	4.6
2024.1	256	△11.1	142	△27.9	105	72.1	17,290	134.3	44	△9.7	4	33.3	449	△17.8	52,469	1.3	21,894	4.1
2	247	△25.2	181	△18.5	32	△42.9	21,053	13.3	86	5.7	5	400.0	928	2893.5	52,327	1.3	21,931	4.1
3	386	28.2	231	7.9	90	87.5	27,923	152.6	133	3.0	2	△33.3	121	△81.4	52,835	1.7	22,474	3.3
4	296	△14.7	176	△15.0	85	4.9	38,233	55.0	106	△11.7	6	100.0	1,150	553.4	52,884	0.6	22,077	2.6
5	460	33.3	245	31.7	67	△29.5	47,563	249.3	110	△5.4	1	0.0	45	66.7	52,906	0.3	22,186	1.9
6	357	△25.6	229	△10.9	58	△64.6	33,308	107.3	206	19.6	2	0.0	167	△30.7	53,928	0.9	22,252	1.9
7	351	3.5	220	△0.9	98	25.6	14,660	△2.6	180	20.7	5	150.0	2,163	256.3	53,139	0.3	22,350	2.3
8	299	△11.5	229	△8.8	40	△31.0	48,525	176.4	116	4.2	1	△50.0	35	△91.0	53,299	0.3	22,398	2.4
9	388	64.4	245	52.2	125	190.7	24,272	△51.6	159	△24.3	7	250.0	1,190	412.9				
出所	国土交通省								東日本建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行			

全国の主要経済指標 ④

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定 (注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	百戸	%	百戸	%	百戸	%	千m ²	%	億円	%	件	%	億円	%	百億円	%	百億円
2021年	8,565	5.1	2,856	9.4	3,214	4.8	51,894	8.8	140,503	△5.2	6,030	△22.4	11,507	△5.7	90,384	3.6	54,222	1.1
2022年	8,595	0.4	2,533	△11.3	3,451	7.4	51,430	△0.9	139,937	△3.2	6,428	6.6	23,314	2.6	93,224	3.1	56,545	4.3
2023年	8,196	△4.6	2,244	△11.4	3,439	△0.3	48,103	△6.5	147,405	△1.1	8,690	35.2	24,026	3.1	96,535	3.6	58,795	4.0
2023.9	689	△6.8	195	△12.3	297	△2.9	3,874	0.1	12,995	0.1	720	20.2	6,919	377.6	95,882	3.9	57,967	3.8
10	718	△6.3	181	△17.2	317	△1.0	5,443	37.4	10,933	3.6	793	33.1	3,080	254.1	96,341	3.5	58,009	3.6
11	662	△8.5	178	△17.3	283	△5.3	3,477	△9.7	7,647	9.9	807	38.9	949	△17.9	97,331	3.5	58,368	4.0
12	646	△4.0	170	△13.8	259	△3.6	3,729	1.7	7,193	14.5	810	33.7	1,032	30.4	96,535	3.6	58,795	4.0
2024.1	588	△7.5	148	△11.0	247	2.7	3,616	△21.1	5,734	12.7	701	23.0	791	40.0	97,022	3.4	58,874	4.2
2	592	△8.2	163	△11.2	249	1.0	3,302	△15.8	8,917	△0.7	712	23.4	1,396	44.5	97,246	3.4	59,064	4.2
3	643	△12.8	166	△4.8	282	△13.4	3,425	10.6	16,243	6.2	1	12.0	1,423	△3.5	98,743	3.2	59,601	4.5
4	766	13.9	179	△3.9	346	20.6	4,530	△10.2	24,324	18.8	783	28.4	1,134	△44.4	99,343	3.0	59,629	4.4
5	659	△5.3	172	△8.7	272	△5.3	3,424	△4.4	15,901	12.3	1,009	42.9	1,368	△50.9	99,064	2.4	59,717	4.5
6	663	△6.7	192	△5.6	282	△6.2	3,686	1.8	17,197	△5.3	820	6.5	1,099	△27.2	98,803	2.7	60,043	4.7
7	680	△0.2	199	△4.0	315	4.6	3,528	△10.5	15,307	10.9	953	25.7	7,813	381.8	98,734	2.4	60,075	4.5
8	668	△5.1	196	△6.6	289	△1.4	3,199	△15.6	10,706	△3.9	723	△4.9	1,014	△6.5	98,566	2.1	59,940	4.0
9	685	△0.6	194	△0.9	310	4.4	3,741	△3.4	12,752	△1.9	807	12.1	1,328	△80.8				
出所	国土交通省								東日本・西日本・北海道建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行			

(注1) 年数値は年度計 (注2) 年数値は年末残高

駐在員レポート

バンコクの新ランドマーク「One Bangkok」について

私の勤務するバンコック銀行本店は、バンコク・シーロム地区というオフィス街にあり、現在その近くでバンコク最大の超大型複合商業施設「One Bangkok」の開発が行われています。2019年から工事が始まり、2024年10月25日に一部開業を迎えました。今回は、この「One Bangkok」についてご紹介します。

「One Bangkok」の開発費は約32億米ドル（約4,800億円）で、タイ史上最大の民間不動産開発となります。現在は商業エリアの一部のみが開業しており、すべてが完成するのは2027年と言われています。

完成後は5棟の巨大なオフィスビル、ザ・リッツ・カールトン（ホテル）を含む5棟の高級ホテル、400を超える店舗が入る商業エリア、3棟の高級住宅タワー、およびコンサートホールで構成され、延べ床面積は約180万㎡（東京ドーム約38個分）となる予定となっています。



「One Bangkok」には日系のお店も多く出店しています。地下には「MITSUKOSHI DEPACHIKA」がタイに初出店しており、日本の「デパ地下」が再現されていました。入り口には山梨県産のシャインマスカットが1房389バーツ（約1,750円）で販売されており、山梨県産のワインや日本酒も並んでいました。訪問時は、開業間もないタイミングも重なり、非常に多くの人でにぎわっていて、周辺では入庫待ちの車で渋滞も発生していました。



周りのタイ人にもヒアリングしたところ、「One Bangkok」への注目度は高く、新たな情報発信拠点として人の流れを変える可能性もある施設だと感じています。

バンコクにお越しの際は、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。なお、「One Bangkok」周辺は渋滞が深刻な地域でもありますので、行かれる際はMRT（地下鉄、ルンピニ駅直結）を利用されることをお勧めします。

発行 山梨中央銀行
編集 山梨中銀経営コンサルティング

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号
☎ (055) 224-1032
山梨中央銀行 URL：
<https://www.yamanashibank.co.jp/>